

## 施工説明書



# ダイレクトバルブ式便器 (床排水)

YBC-S40S 系  
YHBC-S40S 系

## 安全のために守ってください！

便器を取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。  
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

### 用語の説明

- |           |  |
|-----------|--|
| <b>警告</b> | 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。           |
| <b>注意</b> | 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。 |
|           | 「注意しなさい！」<br>(必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)                  |
|           | 「してはいけません！」<br>(一般的な禁止記号です。)                           |
|           | 「指示通りにしなさい！」<br>(一般的な行動指示記号です。)                        |

### 取付業者さまへ

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客さまに必ず本書と取扱説明書や保証書（ヒーター付便器の場合）をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

## ！警告

	本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。 ※ 感電・火災の恐れがあります。 (100V 電源使用の場合)
	絶対に分解や改造は行わないでください。 ※ 感電・火災・ケガの原因になります。 (100V 電源使用の場合)
	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。 ※ 感電の原因になります。 (100V 電源使用の場合)
	バスルーム内など、湿気の多い場所には、設置しないでください。 ※ 感電・火災の原因となります。 (100V 電源使用の場合)
	電源コードをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。 ※ 感電・火災の原因になります。 (100V 電源使用の場合)

## ！注意

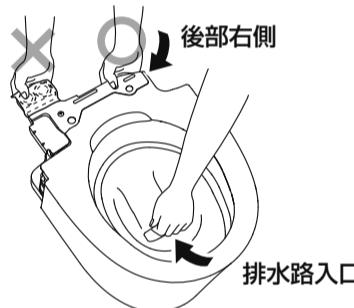
	陶器は割れものです。 ● 施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。 ● 施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。 ※ 破損部でケガをしたり、漏水により室内浸水の原因になります。
	止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。 ※ 漏水し、室内浸水の原因になります。

	お客様にお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。 ※ 凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。
--	--

## 施工前のご確認

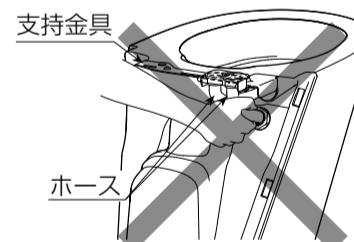
### 開梱時の注意点

- 便器は後部右側と排水路入口の陶器部分を持ってください。



- 便器後部のホースや支持金具を持たないでください。

※ ホースの外れや支持金具の変形により、漏水の原因となったり、便器洗浄が正常に行えなくなります。



### 部品の確認（梱包内容を確認してください。品番によって同梱される部材が変わります。）

便器	排水ソケット	施工説セット
		施工型紙：1枚 施工説明書：1部
便器：1台 ※ヒーター仕様を手配の場合は、ヒーターコントローラーが付属しています。		排水ソケット：1個
固定用木ねじ（φ 6 × 40）：2本 ワッシャー（φ 23）：2個 ※ AY 仕様を手配の場合は、AY ボルト（AY-86D:2本、AY-23W:2本）が同梱されています。	化粧キャップ：2個 ナット：2個 床固定用木ねじ（φ 6.3 × 45）：2本 ワッシャー（φ 18）：4個	固定用粘着材 床固定部材 ：1個 ：1個

### 使用的する水について

- 機能部に同梱している施工説明書に記載の水質・水圧条件で接続ください。

### 止水栓について

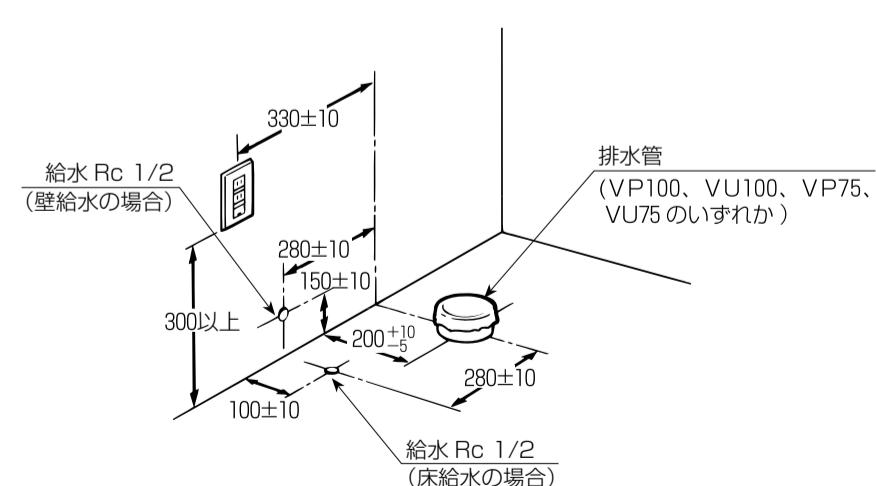
- 機能部に同梱されている止水栓を使用します。
- 標準施工図にしたがって、給水管を取り出してください。
- 止水栓を取り付けるまで、異物が混入しないように給水管にはプラグ（LF-7T を推奨）などでカバーをしてください。  
※ 通水時に異物が入り、止水不良となる恐れがあります。
- 止水栓の向きは、接続時にホースが折れないように調整してください。
- 給水管はぐらつかないように、しっかりと固定してください。  
※ 漏水、給水管の破損の原因になります。

### 排水芯について

- 排水芯 200mm 専用ソケットです。
- 鉛管には対応できません。
- 排水位置が指定の位置であることを確認してください。  
※ 排水管が壁寄りに取り出されている場合は、機能部と壁が干渉して施工できない恐れがあります。
- 便器を取り付けるまで、異物が混入しないように、排水管にはビニール袋などでカバーをしてください。  
※ 异物が入り、洗浄不良となる恐れがあります。
- 排水芯 200mm の床排水便器からの取替の場合は変換アダプター（CF-200AD）を手配し、施工説明書にしたがって既存ソケットを取り外してください。  
※ ただし、排水管が VP75 の場合は変換アダプター（CF-200AD）は不要です。

### 設置場所の確認

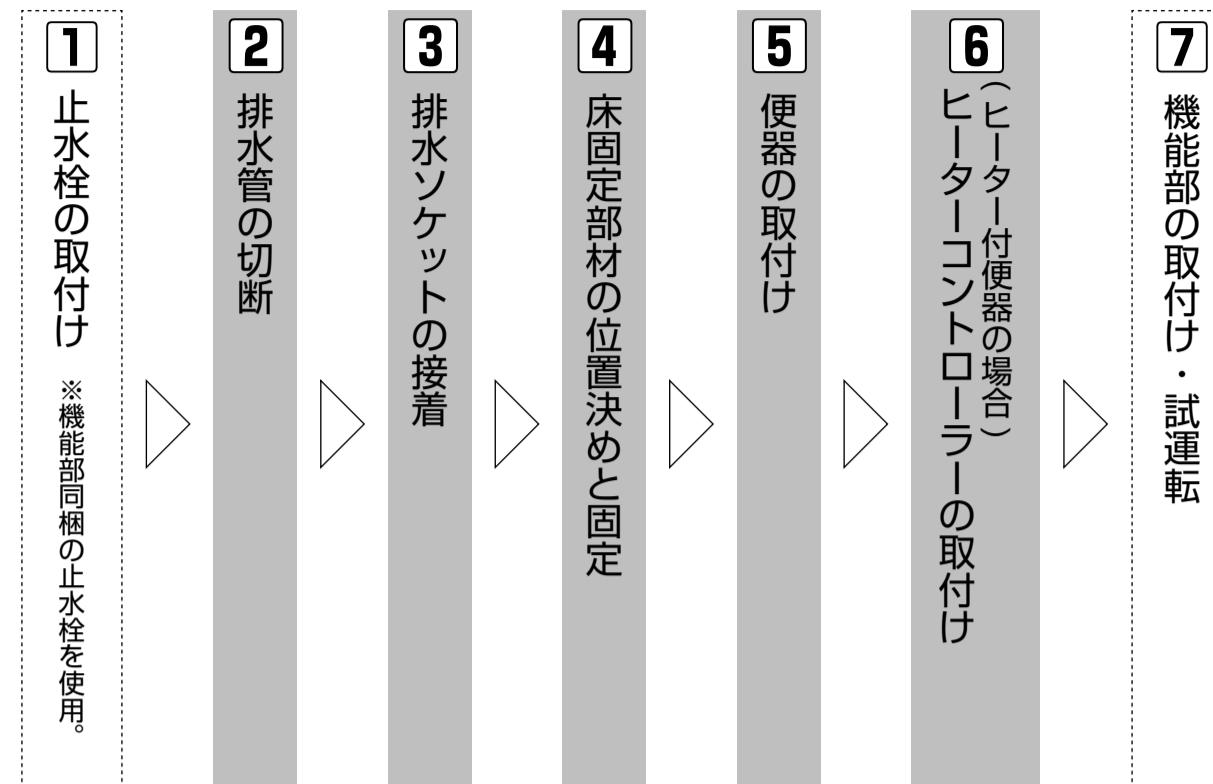
※ コンセントの詳細は、機能部の施工説明書の「電源の確認」を参照ください。



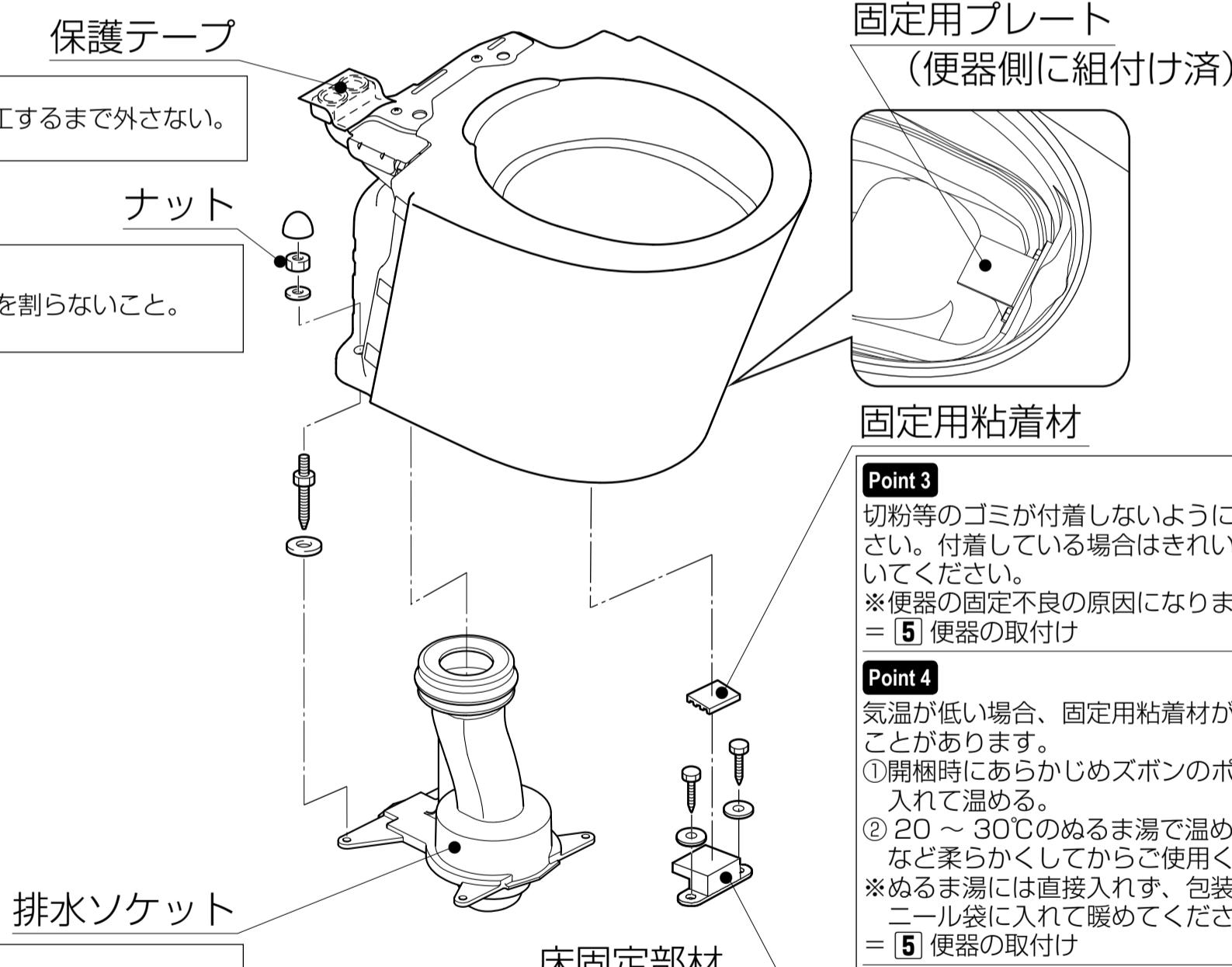
- 給水管、排水管の取出し位置は、図面寸法を守ってください。  
※ 誤って排水管を壁寄りに取り出した場合は、機能部と壁が干渉して施工できない恐れがあります。

## 施工手順

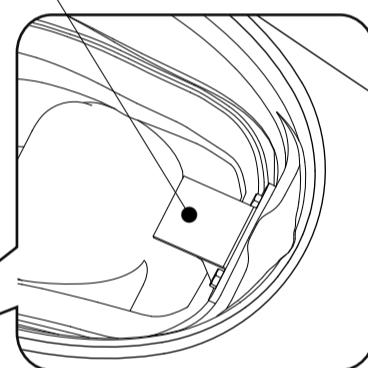
■は本書を、□は機能部同梱の施工説明書に従って正しく取り付けてください。



## 施工のポイント



固定用プレート  
(便器側に組付け済)



固定用粘着材

Point 3 切粉等のゴミが付着しないようにしてください。  
付着している場合はきれいに取り除いてください。  
※便器の固定不良の原因になります。  
= ⑤ 便器の取付け

Point 4 気温が低い場合、固定用粘着材が固くなることがあります。  
①開梱時にあらかじめズボンのポケットに入れて温める。  
②20～30℃のぬるま湯で温める。  
など柔らかくしてからご使用ください。  
※ぬるま湯には直接入れず、包装ごとビニール袋に入れて暖めてください。  
= ⑤ 便器の取付け

Point 6 固定用粘着材を便器に確実に圧着するため、施工完了後24時間は便器を上方向に引張るなどの無理な力をかけないでください。  
※十分な固定強度が得られなくなる恐れがあります。  
= 便器の取付後のご確認

# 施工方法

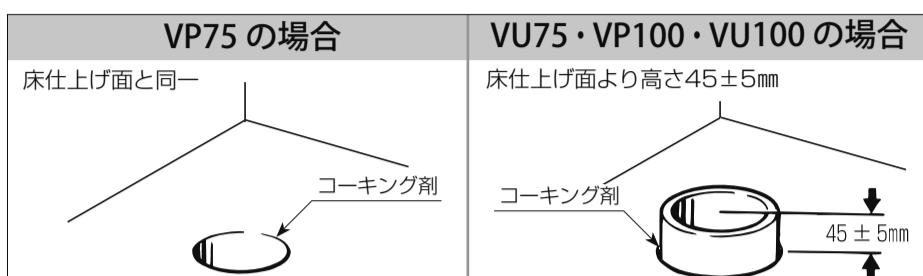
## 1 止水栓の取付け

機能部同梱の止水栓を機能部の施工説明書を読んで、施工してください。

## 2 排水管の切断

排水塩ビ管を切断する。

排水管口と床が水平になるように切断します。

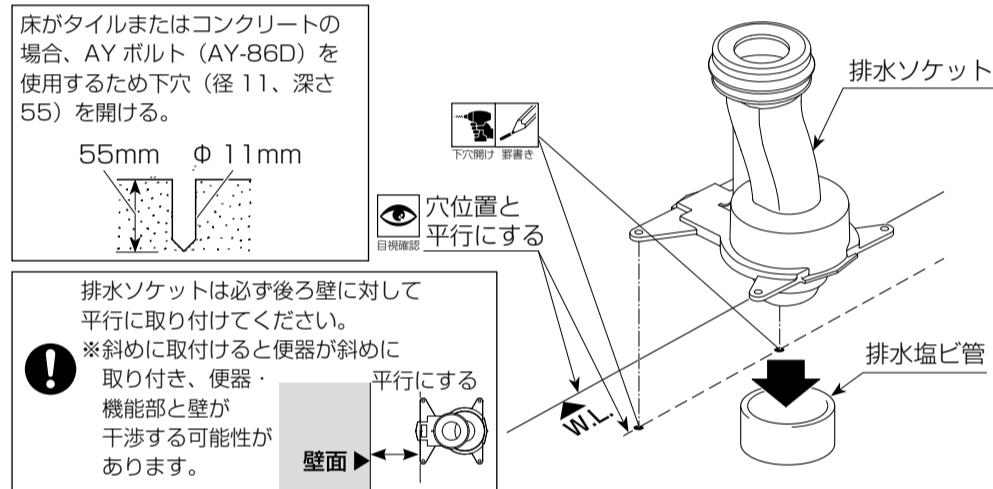


### △注意

- 排水管は、切断面が水平になるように切断してください。  
※漏水や臭気発生の原因になります。
- 排水管と床に隙間がある場合、コーティング剤を塗布してください。  
※漏水や結露の原因になります。
- 防振シートを使用する場合は、排水ソケットを取り付ける前に床排水用ソケットスペーサーの施工説明書を参照し、排水塩ビ管の切断位置を5mm高く切断してください。  
※漏水や臭気発生、施工不良の原因になります。

## 3 排水ソケットの接着

(1) 排水ソケットを仮置きし、けがき・下穴をあける。



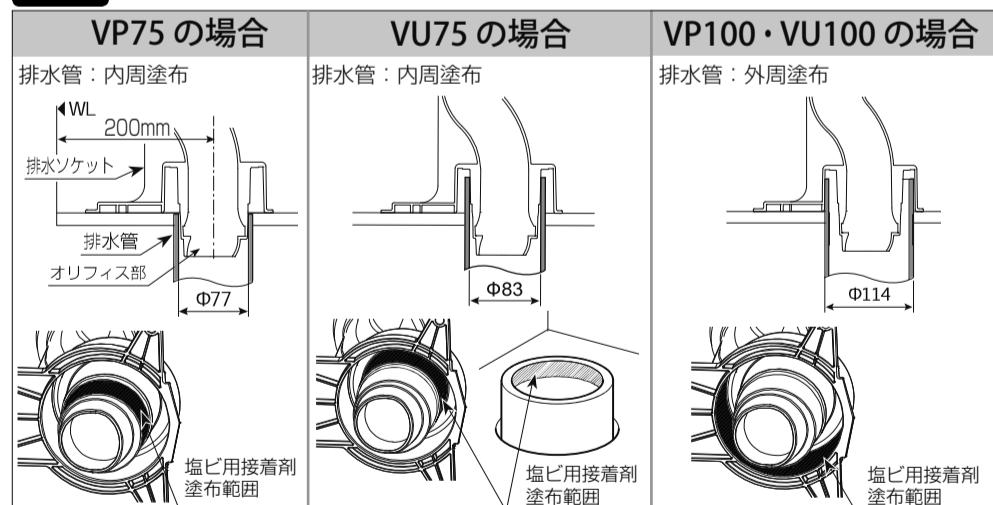
### △注意

- 排水ソケットのオリフィス部は切断しないでください。  
※オリフィス部を切断すると、便器洗浄不良の原因になります。

(2) 排水塩ビ管と排水ソケットを接着する。

排水塩ビ管と排水ソケットの両方に塩ビ用接着剤を塗り、接着します。

### Point 1



### △注意

- 排水塩ビ管と排水ソケットの密着部は、塩ビ用接着剤を塗る前にきれいにして、確実に接着を行ってください。

※接着が不十分の場合、漏水、臭気発生の原因になります。

<すき間、ガタがある場合の接着例>

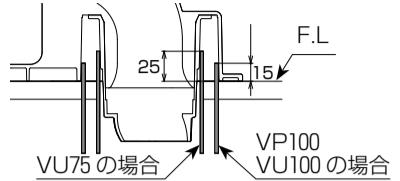
- ・コーティング剤を使用してください
- ・塩ビ用接着剤を多めに使用してください



### △注意

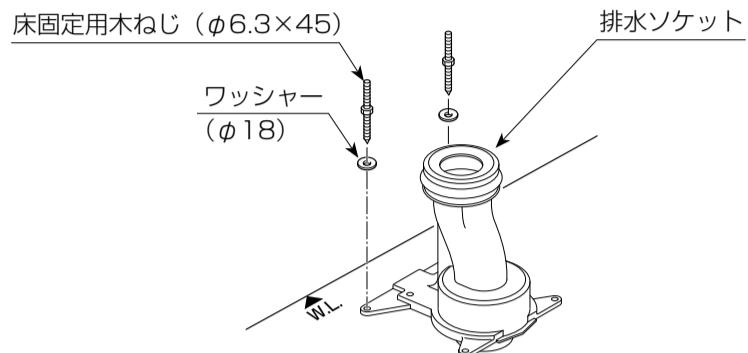
- 排水ソケットがはまらない場合は、排水管の取出し高さを変更してください。  
※はまらないと、施工不良の原因になります。

- ・VU75の場合: 25mm
- ・VP/VU100の場合: 15mm
- ・VP75の場合: 高さ調整できません。



(3) 排水ソケットを床に固定する。

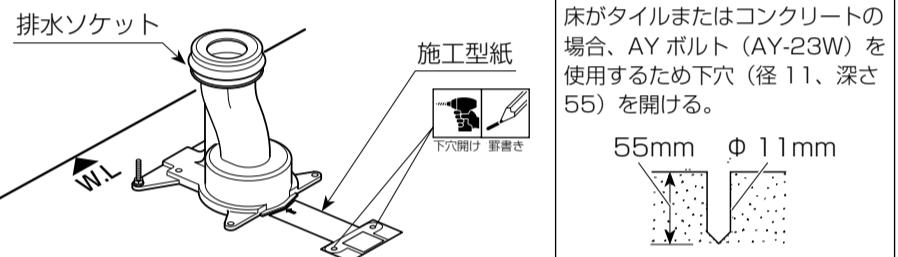
床固定用木ねじ・ワッシャーまたはAYボルトのねじを使用し固定します。



## 4 床固定部材の位置決めと固定

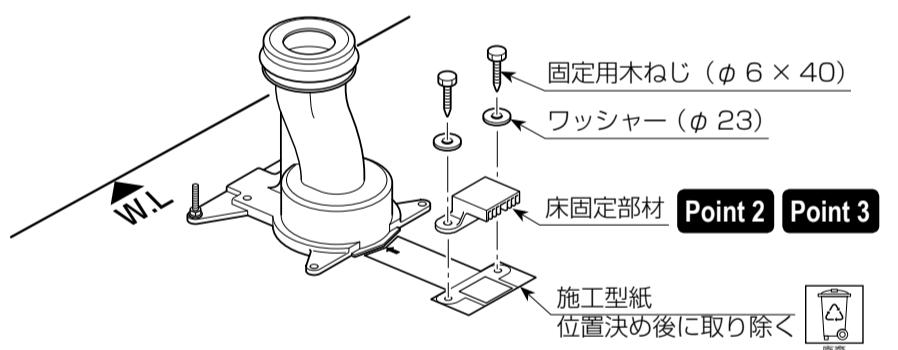
(1) 施工型紙を仮止めし、けがき・下穴をあける。

排水ソケットの先端に合わせて施工型紙をマスキングテープ等で仮止めして、けがきしてから下穴をあけます。



(2) 施工型紙を取り除き、床固定部材を床に固定する。

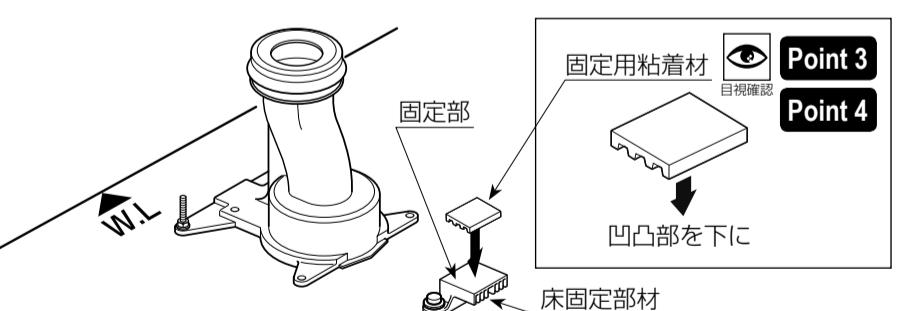
仮止めした施工型紙を取り除き、床固定部材を固定用木ねじ・ワッシャーまたはAYボルトのねじを使用し、固定します。



## 5 便器の取付け

(1) 固定用粘着材を床固定部材に置く。

固定用粘着材は、凹凸部を下に、床固定部材の中心に来るよう置きます。



### △注意

- 固定部に水分や切粉等のゴミが付かないようにしてください。  
ゴミが付着している場合はきれいに取り除いてください。  
※便器の固定不良の原因になります。

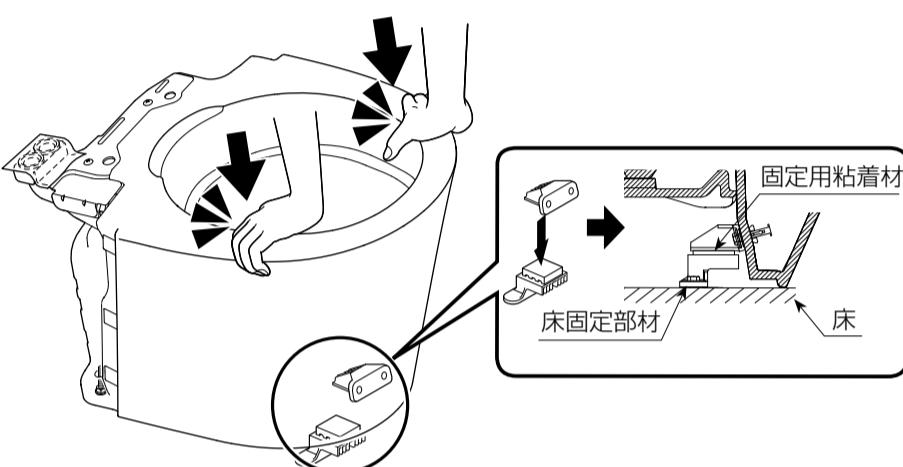
- 固定用粘着材をぬるま湯で柔らかくする場合は、直接入れないで梱包ごとビニール袋に入れて20~30℃を温めてください。  
※便器の固定不良の原因になります。

## 5 便器の取付け

- (2) 便器と排水ソケットを接続し、固定用粘着材を圧着する。  
①ボルト部に固定用穴を合わせた状態で便器排水口を排水ソケットに差し込み、中心を調整しながらボルト部・排水ソケットの順にゆっくりおろします。



- ②便器と床固定部材を固定用粘着材で圧着させる。  
便器をゆっくり下ろしてから便器前側を押し下げ、床と便器の隙間がなくなるまで固定用粘着材を潰します。

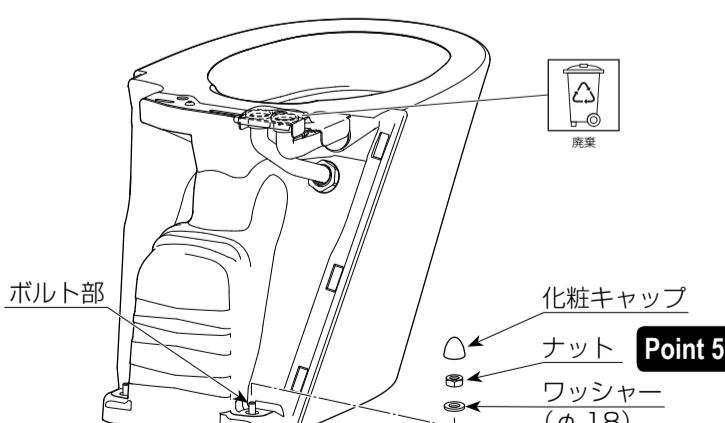


### △注意

- 機能部を取り付けるまでは、保護テープを外さないでください。  
※保護部周辺をキズつけたり、ゴミなどの異物が入ると漏水する可能性があります。
- 便器は後部右側と排水路入口の陶器部分を持ってください。  
※部品が外れや破損してケガしたり、腰を痛めたりする可能性があります。
- 便器の台座を排水ソケットの上に載せないでください。  
※排水ソケットが破損したり、排水ゴムジョイントを傷めて漏水する恐れがあります。
- 便器排水口は排水ゴムジョイントの中心にくるように、便器の前後左右がずれないようにしてください。  
※汚物、トイレットペーパーなどのつまりの原因になります。
- 便器を外す際、便器後部にある床固定用木ねじで便器をキズつけないように注意してください。



- (3) 便器をナットで固定し、化粧キャップをつける。  
床固定用木ねじボルト部に、ワッシャー・ナットをはめ、便器を固定します。その上から化粧キャップを取り付けます。



## (4) 固定状況を確認する。

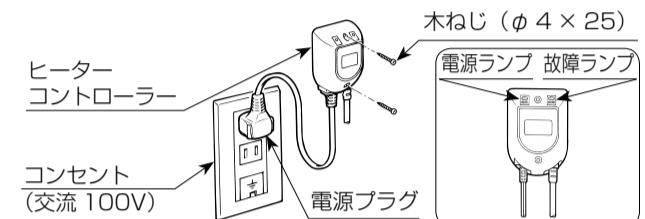
便器を軽くゆすり、固定されていることを確認します。

### △注意

- Point 5**
- ナットは締めすぎないようにしてください。  
※陶器が割れる恐れがあります。
  - 化粧キャップはねじ固定構造となっています。化粧キャップは必ず回して着脱してください。  
※逆に回したり、無理にひきはがした場合、破損の恐れがあります。

## 6 (ヒーター付便器の場合) ヒーターコントローラーの取付け

- (1) ヒーターコントローラーの取付位置を決め、固定する。  
電源コードの長さ (1.5 m) を考慮して、木ねじで固定します。
- (2) 電源をつけ、ランプの点灯・消灯を確認する。  
電源プラグをコンセント (交流 100V) に差し込み、以下を確認します。
- 電源ランプ (オレンジ色) ……点灯していること
  - 故障ランプ (赤色) ……消灯していること



## 7 機能部の取付け・試運転

機能部の施工説明書を読んで、施工してください。

## 便器の取付後のご確認

- 陶器表面にキズなどがないことを確認してください。  
※便器と金具が接触するとスジ状の線ができます。万ースジ状の線が付いた場合には、市販のメラミンスポンジに十分水を含ませ、こすり洗いをして除去してください。
- それでも取れない場合は、トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、1時間程度付着した部分にあてて放置したあと布でふき取ってください。その後、中性洗剤で洗い流してください。洗剤の気化したガスが故障・破損する原因になるので、便座・便フタは開けたまま十分な換気を行ってください。
- 施工完了後は、必ず試運転をして「漏水検査、水漏れ検査」を行ってください。  
検査内容は、機能部の施工説明書を確認ください。  
※取付けが不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- 施工完了からお客様にお渡しするまでに、凍結の恐れがある場合は、便器、止水栓や給水ホースから水を抜いてください。
- 施工完了からしばらく長期間にわたり通水をしない場合は、トラップに水を入れておいてください。  
※下水管からの臭気や、有毒ガス、腐食ガス、昆虫などがトイレに入り、家屋・建物、家財への損害や、便器、設備機器の故障、健康被害を生じる恐れがあります。
- 給水管接続及び通水検査、水漏れ点検は必ず水道工事店様が行ってください。

- Point 6**
- 固定用粘着材を便器に確実に圧着するため、施工完了後 24 時間は便器を上方向に引張るなどの無理な力をかけないでください。  
※十分な固定強度が得られなくなる恐れがあります。
  - 不要部材を処分する場合は、必ず公的認可を受けている業者に依頼してください。
  - 施工終了後 本書を取扱説明書とともに、お客様にお渡しください。